

みどりの風

令和2年5月12日（火） 発行人：校長 角田 亮明

緑
の
誓
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

温かな贈り物＝布製マスク1200枚

五島市出身で、現在、奈良県にて靴下工場を営む方から、五島市の小・中学生に布製マスクが届きました。日本全国でマスクの品薄が続く中、ふるさと五島の子ども達にマスクを届けたいという熱い思いからの行動なのだそうです。靴下を作る機械を使って代用のマスクを大量に作り、五島市に届けてくださいました。そして、そのうちの1200枚が、緑丘小にも届けられたのです。すでに、1人2枚ずつ配っていますので、ご覧になられた保護者の方もたくさんいることでしょう。残りは保管用として、マスクを忘れた子のために活用していきたいと思っています。

「地域の特性を学び、学校・ふるさとを誇りに思う子どもの育成」

五島市学校教育基本方針の一つです。この方針に沿ったどの学校も「ふるさと学習」に力を入れており、地域の人・もの・ことの素晴らしさに触れる学びを創っています。郷土の素晴らしさを学ぶことにより、ふるさと五島を大事に想う心や姿勢を育てるのです。今回届けられたマスクの贈り物は、子ども達一人一人にふるさとを愛する心を強く意識させてくださいました。本当に温かな贈り物。大事に使わせていただきたいと思います。

緑丘小を代表して、6年生にお礼の手紙を送ってもらうことにしています。



早速マスク着用の6年生

本年度も「算数科指導」の研究に取り組みます。

令和元年度～3年度の3年間、五島市教育委員会の指定を受けて「算数科指導」の在り方を追究する研究に取り組みます。算数科の学力を向上させることは五島市全体の課題であり、明確に結果を出していかなければならない重点目標です。そこで、緑丘小では、毎時間、ねらいに即した「書く活動」を重視する授業を展開することで、主体的に学び合う子どもを育て、その結果、学力の定着と向上を目指すという方向性を設定し全学年で授業改善を進めています。

全ての教科に共通することですが、特に算数科では、どの学年も同じルール、同じ進め方で授業を展開することが、子ども達の学習理解を深めることにつながります。人事異動により多くのメンバーが入れ替わりましたので、先生方を子どもに見立てた模擬授業を行って、ルールや進め方の確認を行いました。

前年度の研究内容を知る先生が教師役を務め、残り全員が児童役になって授業を進めていきます。新しく着任した先生方からは積極的に質問が飛びます。

研究成果を披露する研究会は、11月開催予定です。



校内模擬授業の1コマ